

I. 事業所情報

事業所名	
事業者番号	
サービス種別	
記入者役職※可能な限り、管理者・サ責又は経営者が記入してください。	
記入者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

II. 運営上の課題

■2026年10月1日時点の職員数（延べ）（注1）

訪問介護員	人
サービス提供責任者	人
介護職員（注2）	人
介護職員のうち、外国人介護職員数	人
看護職員	人
生活相談員	人
機能訓練指導員（PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)等）	人
介護支援専門員	人
上記以外の職員	人

（注1）資格ではなく、従事している仕事（職種）に着目して記入してください。

なお、兼務している職員については、主として従事する仕事（職種）にのみ記入してください。

※サービス提供責任者（指定訪問介護サービスのみ該当）と訪問介護員を兼務している場合は、サービス提供責任者の欄に記入し、訪問介護員の欄には記入しないでください。

（注2）介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

■2026年10月1日時点の利用者数（延べ）

利用者数	人
平均要介護度（注3）	

（注3）平均要介護度は、自立はゼロ、要支援1・2は0.375として算出してください。

■昨年度（2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日））の雇用管理の状況

新規入職者数	人
離職者数	人
求人発出件数（ハローワーク、人材派遣業者等合わせて）	回
平均有休取得日数（1人あたり年平均）	日
平均時間外労働時間数（1人あたり年平均）	時間

■運営上の課題（複数選択可）

- ☐ 良質な人材の確保が難しい
- ☐ 今の介護報酬では、人材の確保・定着のために十分な賃金を払えない
- ☐ 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
- ☐ 教育・研修の時間が十分に取れない
- ☐ 経営（収支）が苦しく、労働条件や労働環境改善をしたくてもできない
- ☐ 新規利用者の確保が難しい
- ☐ 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している
- ☐ 介護従事者の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
- ☐ 管理者の指導・管理能力が不足している
- ☐ 介護従事者間のコミュニケーションが不足している
- ☐ 経営者・管理者と職員間のコミュニケーションが不足している
- ☐ 利用者や利用者の家族の介護サービスに対する理解が不足している
- ☐ 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない
- ☐ 雇用管理等についての情報や指導が不足している
- ☐ その他（内容：_____）
- ☐ 特に問題はない

Ⅲ. 生産性向上（業務改善）の取組

■介護ロボット・ICT導入について

（１）導入済の機器（複数選択可）

- ☐ 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
- ☐ 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
- ☐ 排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
- ☐ 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
- ☐ コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
- ☐ 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
- ☐ 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
- ☐ 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
- ☐ 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
- ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
- ☐ 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
- ☐ 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
- ☐ 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
- ☐ バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）
- ☐ その他（内容：_____）

(2) 導入してみたい機器（複数選択可）

- ☐ 移乗介助（介助者のパワーアシストを行う機器）
- ☐ 移動支援（高齢者等の移動をサポートする歩行支援機器）
- ☐ 排泄支援（設置位置の調節可能トイレ、排泄を予測し的確なタイミングでトイレへ誘導する機器、下衣の着脱等の一連の動作を支援する機器）
- ☐ 見守り（センサーや外部通信機能を備えた機器等）
- ☐ コミュニケーション（高齢者とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器）
- ☐ 入浴支援（浴槽に出入りする際の一連の動作を支援する機器）
- ☐ 介護業務支援（ロボット技術を用いて、介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、必要な支援に活用することを可能とする機器）
- ☐ 機能訓練支援（介護職等が行う身体機能や生活機能の訓練における各業務（アセスメント・計画作成・訓練実施）を支援する機器・システム）
- ☐ 食事・栄養管理支援（高齢者等の食事・栄養管理に関する周辺業務を支援する機器・システム）
- ☐ 認知症生活支援・認知症ケア支援（認知機能が低下した高齢者等の自立した日常生活または個別ケアを支援する機器・システム）
- ☐ 介護ソフト（記録、情報共有、請求事務で転記が不要であるもの。音声入力によるものを含む。）
- ☐ 介護ソフト専用の情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末、インカム等）
- ☐ 通信環境機器（Wi-Fiルーター等）
- ☐ バックオフィスソフト（勤怠管理、シフト表作成、人事、給与、ホームページ作成等のためのソフトで転記が不要であるもの）
- ☐ その他（内容：_____）

(3) 介護ロボット・ICT導入の課題（複数選択可）

- ☐ 導入コストが高い
- ☐ どのような介護ロボットやICT機器・介護ソフトがあるかわからない
- ☐ ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える
- ☐ 技術的に使いこなせるか心配である
- ☐ 誤作動の不安がある
- ☐ 設置や保管等に場所をとられてしまう
- ☐ 清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である
- ☐ 投資に見合うだけの効果がない（事業規模から考えて必要ない）
- ☐ 介護現場の実態に適う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない
- ☐ 職員への周知（使用方法等）
- ☐ その他（内容：_____）
- ☐ 導入する必要のある課題や必要性を感じていない

■生産性向上（業務改善）の取組について

(1) 「あおもり介護生産性向上相談センター」（青森県社会福祉協議会内に設置）について知っていますか。

<https://aosyakyō.jp/>

- ☐ 知っており、活用したことがある。（生産性向上の相談、セミナー受講、介護テクノロジー導入補助金の相談・申請等）
- ☐ 知っているが、活用したことはない
- ☐ 知らない

(2) 厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」について知っていますか。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei.html>

- ☐ 知っており、読んだことがある
- ☐ 知っているが、読んだことはない
- ☐ （一部でも）活用し、取り組んでいる
- ☐ 知らない

(3) 介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組のうち、実施済の項目(複数選択可)

- ☐ 職場環境の整備(3M(ムリ・ムダ・ムラ)をなくすための5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ))
- ☐ 業務の明確化と役割分担(人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築)
- ☐ 介護ロボットやICT機器(PC、タブレット等)の導入
- ☐ 手順書の作成(理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化)
- ☐ 記録・報告様式の工夫(項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする)
- ☐ 情報共有の工夫(ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消)
- ☐ OJTの仕組みづくり(日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化)
- ☐ 理念・行動指針の徹底(組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成)
- ☐ 実施済の項目はない

(4) 「介護サービスにおける生産性向上のための7つの取組」うち、実施予定又は実施してみたい項目(複数選択可)

- ☐ 職場環境の整備(3M(ムリ・ムダ・ムラ)をなくすための5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ))
- ☐ 業務の明確化と役割分担(人員体制や役割分担を見直し、業務時間の区切りを再構築)
- ☐ 介護ロボットやICT機器(PC、タブレット等)の導入
- ☐ 手順書の作成(理念やビジョン等をもとに職員の経験値・知識を可視化・標準化)
- ☐ 記録・報告様式の工夫(項目の見直しやレイアウトの工夫等により、情報を読み解きやすくする)
- ☐ 情報共有の工夫(ICT等を用いた転記作業削減、一斉同時配信による報告申し送りの効率化、情報共有のタイムラグ解消)
- ☐ OJTの仕組みづくり(日常業務を通じた人材育成の仕組みづくり、教育内容の統一と指導方法の標準化)
- ☐ 理念・行動指針の徹底(組織の理念や行動指針に基づき、自律的な行動がとれる職員の育成)
- ☐ 実施予定の項目はない

(5) 取組にあたっての(予想される)課題(複数選択可)

- ☐ 時間の確保
- ☐ 実施体制の不備
- ☐ 職場内での反発
- ☐ 取組に対する理解不足
- ☐ ルール化の問題
- ☐ 経済的な問題
- ☐ 職員間の認識のばらつき
- ☐ その他(内容:)
- ☐ 困難は生じなかった

IV. 取組成果(※全体的に、⑤が良い方向、①が悪い方向です。)

■業務の効率化について

項目	現在の状況	1年前と比べて
1 利用者・家族とのコミュニケーション時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた

2 時間に追われる焦り感 (心理的な負担)	① 非常に強い ② 強い ③ 一般的である ④ 弱い ⑤ 非常に弱い (全くない)	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
3 質の維持向上 (OJT・研修・打合せ・新しいケアやサービスの検討) に活用可能な時間	① ほとんど確保できていない ② 十分に確保できていない ③ ある程度は確保できている ④ 必要に応じて確保できている ⑤ 余裕をもって確保できている	① 大きく減った ② 多少減った ③ 変わらない ④ 多少増えた ⑤ 大きく増えた
4 介護職員、事務処理担当職員、責任者の残業時間	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない (全くない)	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
5 報告業務に要する時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
6 介護記録の作成時間	① 非常に長時間を要している ② 長時間を要している ③ 一般的な所要時間である ④ 短時間で済んでいる ⑤ 非常に短時間で済んでいる	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
7 共有情報 (ケア記録やケアマネへの提供情報など) の質	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
8 利用者の状態の経過変化の読みときやすさ	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった

9 各職員が閲覧する書類の枚数	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増えた ② 多少増えた ③ 変わらない ④ 多少減った ⑤ 大きく減った
10 (インカムや引継ぎ・記録による) 必要な情報の受け取り	① 非常に効率が悪い ② 効率が悪い ③ 一般的である ④ 効率が良い ⑤ 非常に効率が良い	① 大きく効率が下がった ② 多少効率が下がった ③ 変わらない ④ 多少効率が上がった ⑤ 大きく効率が上がった
11 主体性のある職員行動	① 非常に主体性が低い ② 主体性が低い ③ 一般的である ④ 主体性が高い ⑤ 非常に主体性が高い	① 大きく主体性が下がった ② 多少主体性が下がった ③ 変わらない ④ 多少主体性が上がった ⑤ 大きく主体性が上がった

■介護サービスの質の向上について

項目	現在の状況	1年前と比べて
1 利用者のニーズ変化への柔軟な対応	① ほとんどできていない ② 十分にできていない ③ ある程度はできている ④ 必要に応じてできている ⑤ 余裕をもってできている	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
2 職員同士の協力のしやすさ(助けを求めたり、情報共有したりしやすいか)	① 非常に協力的ににくい ② 協力的ににくい ③ 一般的である ④ 協力的やすい ⑤ 非常に協力的やすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
3 職員同士が心理的に安心して発言しあえる状況(風通しのよさ)	① 非常に発言しにくい ② 発言しにくい ③ 一般的である ④ 発言しやすい ⑤ 非常に発言しやすい	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
4 各職員の介護に関する基本的な知識や方法の理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した

5 現場リーダークラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
6 管理職クラスの求められる業務に関する理解度	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
7 各職員の仕事に向き合う姿勢（介護という仕事に誇りを持ち、前向きに取り組んでいるか）	① 非常に悪い ② 悪い ③ 一般的である ④ 良い ⑤ 非常に良い	① 大きく悪化した ② 多少悪化した ③ 変わらない ④ 多少向上した ⑤ 大きく向上した
8 各職員の専門的な介護技術の習得度（麻痺のある利用者・興奮状態の利用者への対応など）	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
9 各職員の利用者に対する観察力	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
10 各職員のチーム意識の強さ	① 非常に弱い ② 弱い ③ 一般的である ④ 強い ⑤ 非常に強い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
11 職員と管理者のコミュニケーション時間	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した

12 職員間の人間関係に関するストレス	① 非常に多い ② 多い ③ 一般的である ④ 少ない ⑤ 非常に少ない	① 大きく増加した ② 多少増加した ③ 変わらない ④ 多少減少した ⑤ 大きく減少した
13 各職員の、この職場で働くことに対する意欲	① 非常に低い ② 低い ③ 一般的である ④ 高い ⑤ 非常に高い	① 大きく下がった ② 多少下がった ③ 変わらない ④ 多少上がった ⑤ 大きく上がった
14 各職員が自主的に利用者と向き合う時間（サービス後・サービス間のコミュニケーション時間）	① 非常に少ない ② 少ない ③ 一般的である ④ 多い ⑤ 非常に多い	① 大きく減少した ② 多少減少した ③ 変わらない ④ 多少増加した ⑤ 大きく増加した

V. 自由記載欄
（経済的コスト削減への取組状況や課題）

（時間的コスト削減への取組や課題）

（人材育成や定着に向けた取組や課題）

（行政や関係団体に求める取組や支援）